

冬～春出しシュクコンカスミソウの元切り栽培における高節位摘心法

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

研究のねらい

シュクコンカスミソウは摘心により3～6本の側枝を伸ばし、これを切花にしているが、摘心方法の違いにより切花品質が異なるので、定植から摘心までの期間と摘心節位の違いによる開花及び切花形質の変化を明らかにする。

研究の成果

さし芽後鉢上げした苗(さし芽後35日)を10月17日に定植し、定植後12日目に低節位(6～7節)で、定植後25日目に低節位(6～7節)及び高節位(11～12節)で摘心し、5本仕立てとした。

1. 開花は、無摘心の元切りが最も早く、摘心区では、25日目高節位、25日目低節位、12日目低節位の順である。
2. 開花揃いは無摘心の元切りが最もよく、25日目高節位、25日目低節位、12日目低節位の順である。
3. 切花長、節数、切花重は25日目高節位摘心で他の摘心区より劣るが、切花長80cmの節数、切花重はわずかな差である。ただし、切花長80cmの切花重は無摘心の元切りに較べるとかなり劣る。
4. 花序の分岐数、曲がりは区間で大差ない。
5. 花序内の節間長は、無摘心の元切りが最も長く、次いで25日目高節位、25日目低節位、12日目低節位の順に短くなる。
6. これらのことから、切花のボリュームはわずかに劣るが、25日目高節位摘心が開花は早く、開花揃いも良くなる。このため、作期の短縮も可能である。

表 摘心時期及び摘心節位が開花及び切花形質に及ぼす影響

摘心時期及び 摘心節位	平均開花日	切花長	節 数	花序の 分岐数	茎径	切花重	曲がり
	月 日	cm			mm	g	cm
12日目低節位	2 20(13.2)	132	19.5(9.0)	5.9	3.9	154(51)	33.5
25日目低節位	2 15(11.8)	130	18.7(8.5)	6.2	4.1	158(53)	34.2
25日目高節位	2 6(8.7)	125	16.3(8.3)	6.3	3.9	122(46)	34.8
(元切り)	1 29(3.7)	-	- (8.5)	6.3	4.6	-(60)	35.3
無摘心 (枝切り)	2 14(6.2)	123	17.0(9.3)	6.1	3.4	96(44)	-

注) 平均開花日の()は標準偏差、節数と切花重の()及び茎径は切花長80cmの値
曲がりは80cmの切花基部を水平に固定したときの頂花の下垂距離